

蕪 工 ニュース

山梨県立蕪崎工業高等学校 総務・企画
第 80 号 2011.04.18

入学式が挙行される 冬季競写会で銅賞受賞 東日本大震災に義援金

新入生 181名の入学許可式が挙行される

厳かな雰囲気の中、相原校長より入学が許可された181名の新入生に激励の式辞がありました。緊張した面持ちで式に臨んだ新入生を代表して、蕪崎東中学校出身の依田鷹樹君が、はつらつと高校生としての決意を述べました。初心を忘れずに充実した学生生活を送って欲しいと思います。

クラス担任・副担任紹介

6クラスのホームルーム担任と副担任が秋山学年主任から紹介されました。新入生と保護者は、本校で一番関わりのある教員になるため、興味津々と見聞きしていました。お互いによろしくお願ひします。

校歌紹介

入学式で、本校生徒会役員により校歌が披露されました。校歌の歌詞にあるように、「工業技術の真髄を探求（もとめ）」「学園（まなびや）の伝統を永遠（とわ）に残す」気概を、声高らかに歌えるような生徒を目指して欲しいです。



初めてのホームルーム

担任の先生の一言一句に耳を傾け、どんな学校なのか？担任先生はどのような人なのか？クラスの友達とは仲良く出来そうか？と不安の中にも希望がいっぱいのスタートとなりました。一日も早くこの教室と級友に慣れ、楽しい学校生活を送って欲しいと思います。

入学式終了後の1コマ

晴天の下、浩養苑を背景に、保護者や教職員と共にクラス集合写真撮影です。緊張もほぐれ、どの顔も最高の表情となり、一生の記念になる1枚になることは間違いありません。

先輩方初めましての対面式



4月11日（月）、本校体育館において対面式が行われました。2・3年の先輩たちの拍手に迎えられ、緊張した面持ちで新入生が入場しました。生徒会長に歓迎の言葉をもらい、新入生代表あいさつの後、両者の握手が交わされました。この対面式をもっていよいよ本校生徒の仲間入りです。期待と不安の中、本格的に高校生活がスタートしました。

この段階で、すでに春休み中から部活動に入部をし、がんばって活動している新入生もいます。



達成感をもって巣立ってほしい、それがこの場に居合わせた全員の願いです。これからの新入生と在校生の活躍に大いに期待をして、職員一同で見守っていきたいと思います。

春爛漫桜並木でクラス写真

校庭脇の桜並木で各クラスが写真撮影をしました。満開の桜を前に、新たな気持ちで高校生活に臨むことでしょう。

「なせば成る 為さねば成らぬ何事も 成らぬは人の為さぬなりけり」(上杉鷹山)

この言葉のように、すべての物事に対し受け身ではなく、自ら行動を起こせる人になってもらいたいと思います。



写真部冬季競写会で丸茂君銅賞を受賞

山梨県下の高校生が集まって開催される、高等学校写真連盟主催のコンテストが甲府工業高校で開催されました。当日は写真家の佐藤真樹先生が審査を行いました。1、2年生のみの出品でしたが、デジタル写真が多く、作品数は1200点を超えました。本校からの上位入賞者は、銅賞に入選した2-1丸茂君の作品で、タイトルは「だいこん祭り」です。昨年11月に北杜市で行われたお祭りでの1コマで、審査委員からは「葉や大根の色形が鮮明で、葉っぱの間からのぞく純真で恥ずかしげな表情は、従来からの表現方法であるだけに素直にひかれる。」との講評がありました。次のコンテストは6月に行われる春季競写会です。昨年はこの大会で個人金賞・団体優勝を獲得しています。昨年と同じ結果が出るように、これからの部活動を頑張ってもらいたいと思います。



東日本大震災で義援金を寄付



3月11日に発生した東日本大震災で被災された方々への災害救援基金の募金活動として、3月17日～23日にボランティア委員会・生徒会本部を中心に、在校生・職員で「ジュース1パック募金」を実施しました。学校内にある自動販売機で販売している飲み物の値段が100円であることから、ジュースを1本(1パック)我慢して100円募金をし、被災地の復興支援に役立ててもらおうと考えた募金活動でした。

多くの在校生・職員の協力により総額143,415円を山日YBS厚生文化事業団へ寄託しました。皆さんの温かい思いやりが被災地の方々の大きな力になると思います。今後もお互いに助け合える温かい人になっていってほしいと思います。



U R L <http://www.kai.ed.jp/nirasakith/>
e-mail info@nirasakith.kai.ed.jp

やりませんか?!
出来ること。

